

募集要項

日時	2015年7月24日(金)～25日(土) 1泊2日
場所	火打山、高谷池ヒュッテ周辺
集合場所	妙高高原駅(えちごトキめき鉄道・しなの鉄道)
宿泊場所	高谷池ヒュッテ(朝夕昼食付き・寝具あり)
募集定員	15名
参加資格	高所登山が可能な体力および装備をお持ちの方
参加費用	ガイド料は無料、ただし高谷池ヒュッテの宿泊食事費5,420円および入浴料450円はご負担ください

*ガイド料は本事業費から補助します。*集合場所までの交通費、登山中の行動食等は自己負担をお願いします。
*参加資格に該当するか判断に迷う方は、お気軽に問合せください。

ガイド・スタッフ

【登山ガイド】

7月末の火打山は花のシーズン真っ盛り。北限のライチョウが生息する素晴らしい山を楽しんでください!



日本山岳ガイド協会
認定登山ガイド
インフィールド代表
中野豊和

【ライチョウ解説】

絶滅の危機に直面している火打山のライチョウを守りたい! そんな思いを込めて、彼らの現状を詳しくお伝えします。



国際自然環境アウトドア専門学校
講師
長野康之

【事業サポート】

山と山で暮らす生き物が大好き! 火打山とライチョウについて皆さんの理解が深められるようにサポートいたします!



国際自然環境アウトドア専門学校
自然環境保全学科
蒲池さよ子

【事業サポート】

高山植物が咲きほころぶ火打山登山のベストシーズンです。一緒にライチョウについて学びましょう!



環境省
妙高高原自然保護官
佐藤一交

＼わたしたちがご案内します!／

申込み先

新潟アウトドア企画 担当:遠藤晋
Eメール info@nop.or.jp FAX:0255-78-7913

上記連絡先に「住所・氏名・性別・生年月日・電話番号・Eメールアドレス」を明記のうえ、お申込みください。3日以内に返答のない場合は、お手数ですが再度連絡ください。

7月17日(金) 〆切 ただし定員になり次第、受付を終了します。

問合せ先 国際自然環境アウトドア専門学校 長野康之 TEL:0255-82-4450

環境省 妙高戸隠連山国立公園指定記念事業

火打山ライチョウ保全登山

妙高・火打山 高谷池 登山ツアー 2015

7月(1泊2日)
24日・25日
(金) (土)

参加者募集!!

守ろう! 火打山のライチョウと彼らの生息地

主催: 環境省・長野自然環境事務所
企画・運営: 新潟アウトドア企画
協力: 国際自然環境アウトドア専門学校(i-nac)



ライチョウ保護の最先端を解説!



現地案内のプロガイドが同行!



貴重なライチョウの生態や火打山での生息状況、保護に関する活動などの詳細を専門家が解説します。

四季を通じて妙高周辺を案内する登山のプロガイドが、火打山や高層湿原のさまざまな魅力を伝えます。

ライチョウの息づかいを感じながら 高山植物の待つ 初夏の火打山に登ろう

2015年、上信越高原国立公園から分離独立し、
多様な自然景観や希少な生態系を有する地域として、
新たに妙高戸隠連山国立公園が誕生しました。
火打山は国の特別天然記念物ニホンライチョウの生息北限地として知られますが、
近年では個体数が減少し、絶滅が心配されています。
今回特別に解説者を迎え、ライチョウの今と未来を詳しく聞きながら、
火打山登山に向かいましょう。



7月になると、雪の消えた
湿原にさまざまな高山植物
が咲き始めます。ツアーの
時期はハクサンコザクラの
群生が見頃です。



初夏のライチョウは子育て
シーズン。ヒナを守って
樹木に隠れ、なかなか見ら
れませんが、出会いに期待
して歩いてみましょう。



笹ヶ峰からはブナやミズ
ナラ林のゆるやかな道を
歩きます。途中に清流があり、
ちょうどよい休憩場所
になります。



火打山山頂は360度の展
望。天気が良ければ美しい
山稜が遠くまで見られま
す。日本海が間近に見られ
るのも妙高ならではの。

1日目

- 9:00 妙高高原駅集合
(えちごトキめき鉄道・しなの鉄道)
笹ヶ峰(火打山登山口)へ移動
- 10:00 登山開始
- 14:00 高谷池ヒュッテ到着、自由時間
- 17:00 夕食
- 18:00 火打山のライチョウの生態解説
- 19:00 自由時間
- 20:00 就寝
- 21:00 消灯

下山後は汗を流して帰宅できます!
杉野沢温泉 苗名の湯にて
入浴予定

2日目

- 5:00 起床
- 6:00 朝食
- 7:00 火打山山頂に向けて出発
- 8:30 火打山山頂到着
- 9:00 火打山山頂出発
- 10:00 高谷池ヒュッテ到着
- 10:30 笹ヶ峰に向けて出発
- 14:00 笹ヶ峰到着
- 15:00 温泉にて入浴
- 16:30 妙高高原駅解散

ライチョウの今と未来を知ろう!

特別講座 解説:長野康之
『火打山のライチョウの
現状と保全に向けた課題』

ライチョウってどんな鳥?

およそ2000m以上の高山という限られた地域だけに生息するライチョウは、登山に親しむ方にはお馴染みの野鳥ですが、個体数の減少が懸念され、2012年環境省のレッドリストで絶滅危惧1B類に引き上げられました。保護増殖の対象種である一方、高所に生息することから生態調査が難しく、研究者も少数です。しかし、シカの食害や地球温暖化などによってライチョウの生息域は脅かされ、保全対策は待った無しの状況となっています。

火打山ってどんなところ?

新潟と長野の県境近くに連なる頸城山塊くびきにあり、最高峰が火打山(標高2462m)です。日本百名山にも選定されています。稜線にはハイマツが茂り、火打山から焼山付近にライチョウが生息します。山腹の台地には登山基地となる高谷池ヒュッテが建ち、周辺には花々が咲き乱れる湿地帯が広がります。ツアーでは1日目の自由時間にゆっくり散策できます。



スケジュール